

第3回高松中心市街地プロムナード化検討会議 議事概要

1. 会議の日時及び場所

- (1) 会議名 第3回高松中心市街地プロムナード化検討会議
- (2) 日 時 令和5年10月17日(火) 午後2時00分から午後3時20分
- (3) 場 所 サンポート高松 シンボルタワー展示場

2. 出席委員の氏名

中村 英夫、西成 典久、柏原 亮、北條 裕介、今西 照章、川崎 武文、堀川 満弘、栗原 盾、宮武 一郎、清水 純、久保 雅寛、中村 弘孝、中川 昌之、板東 和彦、多田 仁、竹内 正巳、海津 洋

以上、17名

3. 議事概要

(1) サンポート高松地区のプロムナード化について

【香川県旅客船協会 堀川委員】

14ページにフェリー乗り場の交差点の交通量として、1時間単位の交通量が示されているが、フェリーの下船車両は40数台が5分ぐらいで下船してしまうため、玉藻北交差点と玉藻交差点はフェリーが到着するごとに渋滞が発生している。25ページにあるように、「今後、より一層来訪者の増加が予想される中、歩行者の空間や安全性の確保等、来訪者に配慮した地区の空間整備が必要である」と考えると、玉藻北交差点と玉藻交差点に陸橋やコリドーの整備を検討いただきたい。

信号の調整も大事だが、根本的な安全性や利便性の確保にはならない。歩行者と車を分離することによって、かなりの車両をさばけるのではないかと思うので、シミュレーションだけでも考えていただきたい。

【事務局】

細かいシミュレーションを行うと、誤差がかなり大きくなることもあり、今お示ししている交通解析は、1時間の交通量を基に行っており、5分間で下船するとか、そういう部分は反映されていない。

今後、プロムナード化した時には、南北と東西の交通の構成が大きく変わると考えており、まずは、信号現示の調整を行い、交通量を見ながら対応を考えていきたい。

【香川県旅客船協会 堀川委員】

県立アリーナ完成という大きな変化があるので、できれば、車専用道路になった時のシミュレーションの検討をお願いしたい。

【日本大学 中村委員長】

将来的にサンポートと中央通り、南側のエリアも含めた、歩いて暮らせる高松市の中心部づくりを視野に入れるとすると、歩行者にとって、いかに安全で快適につながるのかは、大きな着眼点である。事務局で、どのタイミングで、どういった検討が必要か整理していただきたい。

【高松市創造都市推進局 中川委員】

資料 37 ページに県立アリーナ完成後の周辺交通量の想定があるが、あくまで車両の交通量ということなので、最大規模のイベントが開催される場合の人流のシミュレーションが必要と考える。

年に 1 回だが、高松まつりの花火大会を今後も開催することを想定しており、例えば花火、県立アリーナ、サンポートホールまたは県民ホールで同時に大規模イベントが開催されると、サンポートエリアに 10 万人以上の方が一度に来場されることも想定されるので、人流または滞留状況のシミュレーション等が必要と考える。

【事務局】

人流や滞留については、イベントの開催場所によっても大きく変わってくる。大きなイベントの場所が特定される場合は、検討する必要があると思っている。

【日本大学 中村委員長】

イベント時の車・人を含めた流動は、100 点満点の答えを出すのはなかなか難しい。実際はイベントごとに主催者が、警察などとも相談しながら対策をすることが多いと思う。どの程度の混雑になりそうかといったことは、本来はイベント主催者が試算をすべきものではあるが、県でもどんな感じが少し掴んでおくことが必要とも思う。

【日本政策投資銀行 柏原委員】

今後は、地域住民の方にしっかりと説明し、皆が納得感をもって進めていく必要があると思う。

大学の移転により若者が増加し、インバウンドのお客さんも大勢いるので、ハード面の整備に加え、飲食施設や回遊して楽しい仕掛け等、コンテンツの充実にも力を注ぐことが肝要であり、県や市、民間事業者が連携した取り組みを期待したい。

より長く滞在・周遊していただくためには、玉藻公園から南側にどうやって接続させていくのかも、今後、検討を続けていただきたい。

【事務局】

第 4 回検討会議で、サンポート高松地区の合意形成の進捗状況や今後のスケジュールについて報告させていただきたい。それに加え、サンポート高松から高松中心市街地にプロムナード化の議論を広げていきたい。

【香川大学 西成副委員長】

今やっていることの重要な目的の一つとして、サンポートを軸に高松全体のにぎわいを創出するということがあると思う。全体の回遊性を高めるために、ウォークラブルなまちづくりを推進していこうとしており、とにかく人流を混雑なく通せば良いという機能面だけではなく、来訪者が居心地良く、楽しんで歩け、滞在したくなる人間心理の側面がすごく大事だと思う。

番町交差点や中新町交差点は、車をグランドレベルで優先させて、地下を自転車や歩行者が通るように整備されているため、結構な人が避けて通っており、東西の人流を空間的にも分離している。サンポート地区でも同じように歩行者が上下移動を伴うことになると、にぎわいの

創出という観点からいうと、人流が減少してしまうこともあると思うので、非常に慎重に議論しながら進めていく必要がある。

【事務局】

サンポート高松地区の通過交通をどう他のルートに転換させていくか検討を進め、サンポート地区の交通量自体を下げていきたい。

ただ一方で、フェリーの利用者等の必要な交通は円滑に処理できる構造の道路となるよう、検討していきたい。

【四国旅客鉄道株式会社 北條委員】

高松駅ビルという観点から言うと、どうしても車でお越しになるお客様もおり、駐車場へ迂回して入らざるを得ないので、周辺住民のことも含め、本当に渋滞しないか引き続き検討していただき、継続してフォローしていただきたい。

また、プロムナード化することが目的ではなく、にぎわいのあるまちづくりとして、仕掛けていく必要がある。26 ページにイベント時に流動が増えたことが示されているが、魅力あるまちづくりや、イベントをしっかりとやっていくことが大事なので、J Rグループとしても、一緒に取り組んでいきたい。

【事務局】

サンポート高松の魅力を高め、多くの方に公共交通で来ていただけるような環境を作りたいと考えている。

【シンボルタワー開発株式会社 栗原委員】

「歩いてでも行ける」ではなく、公共交通機関を使って「歩いて行った方が楽しい」回遊性のあるまちを目指していくべきだと思っている。

我々民間事業者も努力するが、プロムナードの作り方や人が回遊するような仕掛けづくりは、ぜひ行政も一緒になって考えて、やっていただきたい。

【日本大学 中村委員長】

いろいろアイデアをいただくとありがたい。

【高松タクシー協会 川崎委員】

週始めや週末、雨天時、五・十日などの大型トラック等が増える日は、8月の社会実験の日以上に交通量が増える懸念がある。今後前述のような日に社会実験を行うことは考えられているか。一番混雑が予想されるときに状況を事前に見ておいて、対策を取っていただきたい。

【事務局】

地元の方にもご理解いただいたうえで、特異日も含むもう少し長い期間の社会実験を検討していきたい。

【高松市 都市整備局 板東委員】

高松市としても居心地が良く、楽しく歩けるプロムナード化に向けて協力して取り組んで行く。

交通量調査における交差点解析では、問題がないということだが、迂回路となる周辺の影響等について面的に分析する必要があるのではないかと。

住民へのアプローチはこれからということだが、9月下旬には新聞で令和6年度末までにプロムナード化をやるような記事も拝見し、市長が非常に気にしている。プロムナード化の事業の性格を考えると、地元の合意形成を含めて、慎重・丁寧に進めていく必要がある。合意形成を含めた具体的なロードマップを、第4回では提示していただきたい。

【事務局】

合意形成がある程度図られ、方向性が見えてきた時に、今後のスケジュール等をお示ししたい。

【香川県バス協会 今西委員】

安全・安心が確保できる計画にしていきたい。あわせて利用者の利便も図っていただきたい。高松駅の北側道路を通行止めにする場合、西に抜けられなくなるので、公共交通しか入れられないような交通規制等も考えていただきたい。

年に数回、月に数回の大規模イベントに向けての対策のみではなく、大学が移転してきて日々発生する大量の移動についても考えていただきたい。

【事務局】

プロムナード化は、イベント時の対策だけではなく、サンポート高松地区のにぎわいづくりのために行いたいと考えている。

大学には、学生や先生、事務局の方も含めて2,000人ぐらいの方が来られるが、極力、公共交通機関で通学いただくと聞いている。

【国土交通省 四国地方整備局 清水委員】

国では現在、高松環状道路の計画段階評価の手続きを進めており、通過交通をサンポート地区に極力入れないようにすることも考慮し、検討を進める必要があると感じた。

全員賛成というのはなかなか難しいとは思いますが、地域住民との合意形成が1番大事だと思うので、短期的にはその点に注力することが大事だと思う。

【日本大学 中村委員長】

プロムナード化、あるいは将来的に街中も含めて回遊できるようにしていく取組みの方向性自体は、アンケート結果を見ても、非常に多くの方から好意的な声を寄せていただいております。県民ニーズに沿ったものであると感じる。目指しているビジョンや目的をしっかりと示しながら、合意形成を進めて行くことが非常に大事だと思う。

社会実験を踏まえて、交通面では計算上は大丈夫といった結果が示されたが、人流、あるいは特異日も含めてといったご指摘もいただいた。最近、まちづくりの取組みの中でも、社会実験や小さなことから始めて徐々に広げていくといったアプローチが多く取り入れられてきており、プロムナード化についても意義や目標、ビジョンを持ち、それに向けて少しずつ改善しながら取り組んでいくことが大事だと思っている。しっかりと取り組んでいただきたい。

特に今日、委員から指摘があったように、地域住民にご理解いただきながら、あるいは懸念も踏まえながら、対応を考えていくことが大事だと思う。

資料 40 ページに地域住民の方々へご説明をし、ご意見を伺いながら合意形成をはかっていくといった取組方針と、その際のたたき台として最後のページに示している形で進めることについて、委員の皆様方はいかがか。

< 異議なし >

サンポート高松のプロムナード化は、地区の、また高松市の魅力を高め、にぎわいを創出していく取組みとして、非常に効果のあるものだと思う。本日の意見も踏まえ、県、市と一緒に、関係者と連携しながら、住民、あるいは関係者の皆様との合意形成を丁寧に進めていただきたい。

-以上-